

議会運営委員会研修

11月15日～16日

山ノ内町議会

議会運営と活性化に関する研修を長野県山ノ内町で行った。

議会運営について

- ① 監査機能の強化
- ・ 予算決算審査委員会



を常任委員会としており、決算審査などにおける議会の機能を強化している。

- ② 政策立案、チエック機能

・ 基本構想や基本計画の策定などを議会の議決事項に定め、策定段階から関わり、策定とともに、進捗状況などについて常に検証などを行い、チエック機能を発揮している。

③ 議員間討議

・ 全員協議会において全議員の意見等を聴く場を設けるほか、予算や決算の審査の中で自由に討議を行うなど、議員間で自由な議論が行われるように工夫している。

議会活性化について

① 議会報告会

・ 町内5会場で開催しており、町民の方の意見を聴くこと、活動を知ってもらうことなどや、参加者の意見を一般質問に結びつけており、成果が表れている。

② 子ども議会

・ 議会への関心を高めるため機会とするため開催し、子どもならではの感性での提言が多く出され、実現に向けて検討が始まったものもある。

③ 広報活動

・ 議会だよりは年4回の発行だが、全戸配布の労力の軽減や経費の節減の観点から、町広報誌との合冊にしており、多くの人に見てもらおうための工夫を行っている。



まとめ

議会活動を多様な方法で周知しており、直接住民の意見を聴く活動が、議員のなり手不足の解消や町当局への

提言へと結びついている。これらのことが町の発展へとつながっていくという重要性を再認識した。

町村議会広報全国研修

9月27日～28日

広報誌づくり基礎の基礎

広報誌づくりは、地域住民の議会情報周知のための手段であり目的ではない。多くの住民が閲覧しやすい広報誌を目指すため、磨くべき基本は、「企画力」「編集力」「デザイン力」の三つが重要である。

「企画力」においては永続的、恒久的テーマ性のあるものを企画する。「編集力」においては議会運営姿勢や変化する住民心情を理解し分かりやすく工夫し伝える。「デザイン力」においては色の印象や特性を理解し、企画意図、編集に合わせ可変対応する。これらが大切であると指導を受けた。